

Q9： 単元指導計画はどのように作成したらよいですか。

A9： 年間の指導時間にもよりますが、週1時間程度の指導が行われるのであれば（平成23年度からは高学年において週1時間）、3～5時間を1単元ととらえ、1つの題材を中心に指導計画を立てることが望ましいでしょう。ある程度まとまった題材を通して指導することで、ステップを踏みながら取り組むことができるからです。単元の構成は、児童の意識のつながりを大切に、活動内容や英語の表現等が関連するよう考えていくとよいでしょう。

英語ノートに沿って1単位時間を45分と考えた場合、4時間分の単元構成の例を示します。

単元名 Lesson 5 いろいろな国の衣装を知ろう

★単元の指導目標

世界の衣服を知ることを通して文化の多様性に気付くとともに、自分が着てみたい服の紹介や買物に必要な英語の表現に慣れ親しみ、仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

★各時間のねらい

- 第1時 世界には様々な衣服があることに気付きながら、英語による衣服の表現に触れる。
- 第2時 自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付きながら、好きな衣服を買う場面で使われる表現に慣れ親しむ。
- 第3・4時 好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買物ができるような声かけをしたりして、買物活動を楽しみながら、仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

★各時間の活動内容

- 第1時 「いろいろな衣服」
衣服絵カードから着てみたい衣服を選び、それに自分の好きな色を鉛筆で塗ったり、デザインを書いたりする。
- 第2時 「欲しいものは何ですか」
指導者のデモンストレーションを見て「自分が着てみたい衣服」を紹介する仕方を知り、ペアになって紹介し合った後に全員の前で発表する。
- 第3時 「買物をしよう」
作成した衣服カードを使用して、店員とお客に別れて買物の疑似体験をする。
- 第4時 「買ったものを発表しよう」

（ショー・アンド・テルをするためにスピーチの仕方を確認して、買った物について発表用紙を見せながら発表し合う。）

活動を重ねるごとに、児童同士がかかわる場面を増やしたり、活動に負荷を与えたりすることによって、活動が単調にならないようにメリハリを効かせることも大切なことです。そうすることで、児童が英語を話すことに慣れ親しみ、安心して活動に参加することができるでしょう。

変化のある繰り返し
が効果的ですね。

